

## 2024年11月小石川017D会

### 海外旅行 台湾南部

高雄⇒台南古都⇒屏東南端の都市⇒  
三地門パイワン族・霧台ルカイ族⇒屏  
東⇒美濃広東客家⇒高雄

2024/11/17 (日)

成田空港 13:15 発台湾中華航空⇒  
16:45 高雄空港着。眼下の高雄港は  
台湾最大の港である。



両替をし、1台湾ドル=約5円と覚える。蠟山が目的のホテル名を書いた紙を示して、運転手に確実に伝えている。高速道路を飛ばして、台南市のホテル『天下南隅』に着。1500元ちょっと。半袖で出かけることができる暖かさ。夕食の場所老舗台湾料理店『阿美飯店』を探して歩く。名物のワタリガニのおこわ紅蟳米糕、大きなどじょう料理等を楽しむ。



コンビニで夜の部屋飲みセットを購入し、部屋で懇親。

11月18日(月)

ホテルでの朝食を楽しむ。本日は明末台湾発祥の古都台南市を徒歩で見学。

② 赤崁楼(紅毛城・承天府/鄭成功)

② 大天后宮(馬祖(まそ)廟)



③ 祀典武廟(関帝廟総本山)

③ 台南孔子廟

④ 延平郡王祠(鄭成功廟)



そろそろ昼食の時間で、麺を食べようとお店を探す。道にテーブルを出し、麺を売っているお店を選ぶ。各自自分の好みの麺と豆腐など摘まみを選ぶ。



次は安平の町。離れているのでタクシーを捕まえて移動。

#### ⑤ 安平樹屋

建物（現在の樹屋）は荒れ始め、長い年月をかけガジュマルの木に浸食された廃墟。神秘的なパワーというか不思議な魅力も感じられる空間になっている。



#### ⑥ 安平古堡

鄭成功像前で記念写真。



時折戦闘機の轟音が聞こえて、複数の機影も見える。やはり台湾は緊張状況のようだ。防空避難の案内版も表示されている。

⑧安平老街のおみやげ屋台を見ながら帰路につく。

本日の夕食は、上海料理のお店。柴田は上海料理で有名な豆腐の料理を頼むがメイヨーとのことのでがっかり。ホテルの部屋で本日も懇親。

11月19日（火）

本日は台湾南端の都市屏東市に移動・宿泊と観光。ホテルから台鉄台南駅にタクシーで向かう。8:50発の台湾鉄道・特急自強号台東行きで9:43屏東駅着。指定席でゆったり座れた。本日の宿泊ホテル『薇米文旅』に荷物を預ける。屏東市は台湾南端の都市で、台南市より暖かい（暑い）。

#### ① 慈鳳宮

廟の屋根の飾りを目の前で見ることができ、龍等が印象的でした。なかなかの壮観な飾りでした。



② 阿猴城址(朝陽門)

③ 昼食

北の鼎泰豊、南の正筠と言われている有名店で、冷房が効いていて助かった。ビールや小籠包、蝦餃子、麺などを頼む。しばし、おいしい小籠包を楽しむ。



④ 勝利星村(勝利区、旧軍人村)

④ 駅前大和珈琲館(旧大和ホテル)

⑥ 夕食はホテルのすぐそばの屏東夜市でお店を探す。細い道だけど、スク

ータが 10 台ほどごちゃごちゃになって走ってくるので気をつける。



愛想の良さそうなおばさんのお店で楽しむ。台湾名物の牡蠣タマゴ焼きも頼む。

ホテルの部屋で本日も懇親。

11月20日(水)

ホテルでの朝食を楽しむ。屏東駅そばの7:47バスターミナル発のバスで三地村バス停に向かう。8:40頃に着くが、どっちに向かえばよいか分からない。吊り橋を渡るチケットを購入。チケット売り場の女性は、民族的な顔をしている。三地門は、屏東県パイワン族の村。

① 山川瑠璃吊橋

全長 263 メートル、高さ 45m で、現在台湾で最長の吊り橋を渡る。



## ②台湾原住民文化園區

歌や太鼓の演奏、ダンスを楽しむ。大小の太鼓はすごい迫力で、リズムを互いに折り返すことで情報を伝えあっている。(写真禁止)

また、吊り橋を渡って、三地門のバス停に向かう。昼食の時間でもあり、バスの時間を気にしながらバス停そばのレストラン?で麺を楽しむ。



他の客は大学生男女4名で、バスの出発時間についてスマホで調べてくれた。三地村 12:50 前後に霧台行きのバスが着きそうだ。分かったのは、この辺のバスは何時にバス停に着くかは混雑などで分からないので、何時に出発駅を出るとの情報から、到着時間を推定するしかないようだ。

バスにも乗れ、山の崖添いを走っていく。車内でパスポート番号などを記入して入山手続きをした。バスで 13:30 頃に霧台駅に着く。霧台は、ルカイ族の村で、標高約 1000m の場所にある。見学開始。

## ① 魯凱文化館

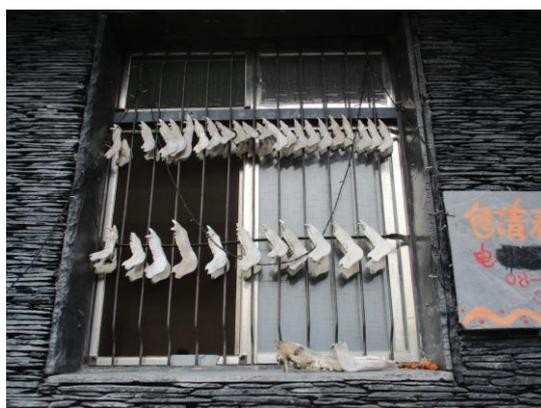
土日しか開いていない。日本統治時代には、こんな山奥までも日本人が来て

いたのだ。



## ② 岩板巷(伝統的石板家屋街)

猪の骨や蛇の飾り物を1時間ほど見学する。



帰り時間までは、まだたっぷり時間があるので、バス停そばのレストラン?でビールとつまみを楽しむ。涼しい場所で、霧の中の集落が落ち着いた雰囲気を出している。



霧台 15:57 発の屏東行きバスで屏東駅に向かう。18 時頃に屏東バスターミナルに着く。隣接のコンビニで夜の懇親酒セットを選ぶ。

夜市のお店ではアルコールを扱っていない店が多い。コンビニで飲み物を買った来て飲んでも良いというので、そばのコンビニでビールを買って、焼き肉（うどんの上に乗っていた）を肴に楽しむ。

ホテルの部屋で本日も懇親。

11月21日（木）

ホテルでの朝食を楽しむ。屏東バスターミナル 10:03 発で、美濃に向かう。11 過ぎに美濃に着く。まず、高雄行きのバス停を探す。親切に教えてくれた。昼食は、客家（ハッカ）伝統の米平麵を楽しむ。他にもおかずとして豚などを頼む。ここでも前のコンビニでビールを買ってきて楽しむ。



4名なのでタクシーを借り切ってしまうことになる。蟬山が交渉して時間で借りることができた。

- ①美濃客家文化館
- ②美濃湖

③広進勝紙傘

高雄市美濃の客家文化を象徴するひとつ。油紙傘は、客家語の「油紙」の発音が「有子」と通じるため、子孫繁栄の縁起物としても大切にされてきた。柴田と井上が小さな模様傘を購入。



④上庄仔敬字亭

文字の書かれた不要になった紙を焼くための炉のこと。

⑤東門樓

⑥原郷縁紙傘文化村

今や観光客のお土産、傘など作成体験の場所となっている。

美濃 15:20 の高雄行きバスの乗ることにしたが、まだ時間があるので、コンビニの2階でアイスクリームなどを楽しむ。1時間30分ほどのバス移動なので、トイレが心配で、ビールはやめにした。17:50 頃に高雄建国站バスターミナルに着く。

高雄は、大きな都市で、高尾駅周辺は新開発が進んでいる。ホテルにチェックイン。

① 三鳳中街観光商圈

高雄駅は改修中だ。夕食は地下鉄で1駅移動し、美麗島駅そばの夜市に行く。夜店で好きな物を買って、路上のテー

ブルで楽しむ。串焼き 4 種、卵焼き、イカ焼きなど、ビールを飲みながら楽しむ。



ホテルの部屋で最後の懇親。

11月22日（金）

ホテルでの朝食を楽しむ。地下鉄で空港まで行けることを昨日わかったので、地下鉄で高雄国際空港に向かう。高尾駅周辺の再開発の説明パネルを柴田は真剣に見ている。無事空港に着く。台湾ドルも日本円に換金する。チェックインして、登場口そばの店でビールを飲みながら、軽いものをつまみにして時間を過ごす。

13:10 高雄発で、2時頃に昼食がでた。疲れているので軽い睡眠を取る。

17:25 成田空港着で、現地での不足金3,500円を蠟山に支払い、総合計約154,000円でした。

解散。お疲れさまでした。